

2020年も 残すところ 4週間足らずです。今年は コロナで始まり、コロナで終わる…そんな怒涛の1年でした。今も 暗いトンネルの中を歩いているような不安は続いているようですが、でも その中に在って、神様の御手のうちに守られ、多くの方々の お祈りやお心に支えられて 子ども達と共に 無事 ここまで歩めたことは、ほんとうに嬉しく 心からの感謝でいっぱいです。皆様には“お互いの命を守るため”の御理解と御配慮を頂いておりますこと 御礼申し上げます。この状況が収まりますまでは、今後も 引き続き 御協力のほど どうぞよろしくお願い致します。

さて、先日のクリスマス保護者会には、このような状況下にも かかわりませず、お忙しい中 お集まり頂きまして ありがとうございます。アンケートの温かな御意見も感謝申し上げます。今回は 感染拡大回避のための対策として、開催時間も プログラムの構成や内容も 乳児・幼児それぞれの 経験やクラスの保育活動等に合わせて、午前と午後の2回に分けさせて頂きました。例年は全クラスで、子ども達お手製の様々なお料理やディスプレイ・讃美歌等でのおもてなしや交流を兼ねたクラフト製作などを通して、クリスマスを迎えるための温かな時間を 分かち合い、私達にとりましても、皆さんと同じように、1年の中でのスペシャルな保護者会でありましたので、こんな時だからこそ御一緒に過ごせるよう機会をつくりたい!!と皆で精一杯 考えました。特に 乳児クラスは初めての集まりでしたが、和やかで とても穏やかな ひと時を過ごせました。幼児クラスでは「ページェントやアドベントについて もう少し聞きたかった」とのお声を多く お寄せ頂き大変感謝でした。が コロナとクラス懇談会を踏まえコンパクトにさせて頂きました。子ども達は、お家の方々へのサプライズ★プレゼントのクッキーを、前日から一生懸命に作り お渡しするのを それはそれは楽しみにしていました。その子ども達1人1人の愛らしい笑顔に『プレゼント』というのは、贈る相手のことを大切に想いながら費やす時間や労力が そのまま喜びとなって注がれている ほんとうに美しく尊いものであることに、改めて気付かされました。プレゼント「present」は 英語ですが、その意味は「前もって用意された」という意味があり もう一つの「ギフト = gift」という言葉には、「神様からの贈り物」という意味があります。どちらとも“とても大切”という印象を受けるとともに、私は そこに“心”を感じています。相手を想う目に見えない心(愛)を 目に見える形となって表わす…プレゼントの本来の意味を しみじみと考えてみました。色々な人から、プレゼントをもらうことは もちろん嬉しいですが 贈ることの喜びを経験することによって、プレゼントは“品物”ではなく 贈り主の“心(愛)”であることを知り、感謝や尊さを実感できるのだと思います。幼い頃から 人を想い、贈り物を ささげる心が育まれることは、受けること以上に与えることの喜びを感じられる 心豊かな人生、人として 温かでやさしく幸せな生き方に繋がっていくに違いありません。そして、クリスマス。何よりも、イエス・キリストこそが、わたしたち人間への深い愛を表わした 神様からの大きなプレゼントです。わたしたちの目には見えない神様を 目に見える形で表わして下さったのが “人”となって、マリアさんとヨセフさんの子どもとして生まれてきた イエス・キリストです。ずっと昔から、天地創造の初めから、神様が わたしたち人間に望んでいる切なる願いは唯一つ 「互いに愛し合いなさい」ということです。「どんな時も 神様はわたしたちを愛し見ている」「だから その愛を信じて 互いに分かち合い 平和で優しい世界をつくってほしい」と、それを伝えるために、わたしたちのことを想い、贈って下さった最高のプレゼント、イエスさまのお誕生のほんとうの出来事を、今年も 年長組の子ども達がメッセンジャーとしてお伝えします。その姿を通して2020年前の世界で最初のクリスマスに想いを馳せ どうぞ神様の温かな愛を受け取ってください。皆様の心に 神様の祝福と、世界中の人々の心に 平和がありますように。「神は 実に そのひとり子をお与えになったほどに 世を愛された。(ヨハネ3:16)」(石田 記)